



日本海
ドームシティ
プロジェクト

—企画案—

2021.06.24

新潟はこのまま沈んでいくのか？

人口日本一の新潟県（明治時代）

明治時代には日本で最も人口が多かった新潟県。当時の日本の人口4000万人の約5%にあたる約180万人が居住し、東京府（当時）や大阪府、愛知県よりも多かったのです。

かつては
人口日本一
約180万人

ブランドイメージの衰退（2011～14年）

新潟県の「地元産の食材が豊富」のイメージは北海道、青森県、岩手県に次ぎ4位。ところが近年では新潟県のイメージは年々低下。11年には23位だった魅力度は、14年には35位に。



ラフォーレ原宿・新潟 閉店（2016年1月）

三井物産新潟支店 閉鎖（2019年10月）

新潟三越 閉店（2020年3月）

三菱商事新潟支店 閉鎖（2021年2月）

商業も
ビジネスも
マイナス
成長か



続く人口減、このままでは新潟は・・・

人口年間

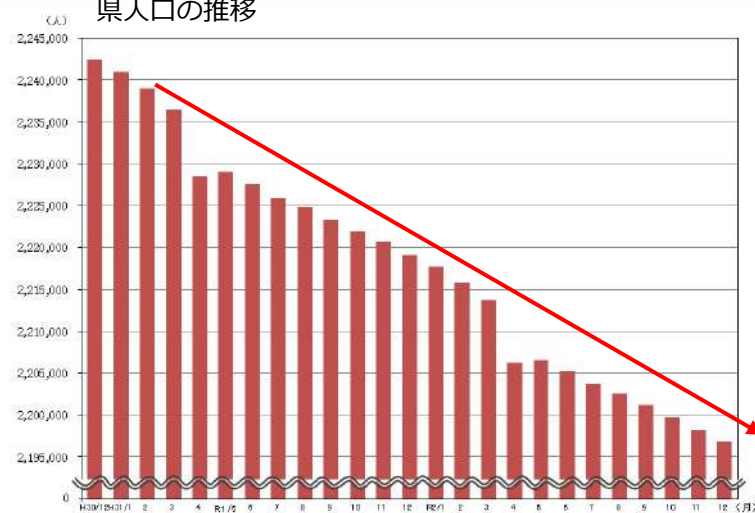
2万人減

の傾向が続く新潟県

(表 2) 県人口の推移
◆年推移

年次	人口	対前年増減数
平成 21 年	2,383,650	-11,489
* 22	2,374,450	-9,200
23	2,362,581	-11,869
24	2,347,092	-15,489
25	2,330,797	-16,295
26	2,313,820	-16,977
* 27	2,304,264	-9,556
28	2,285,856	-18,408
29	2,266,121	-19,735
30	2,245,057	-21,064
令和 元	2,222,004	-23,053
2	2,199,746	-22,258

県人口の推移

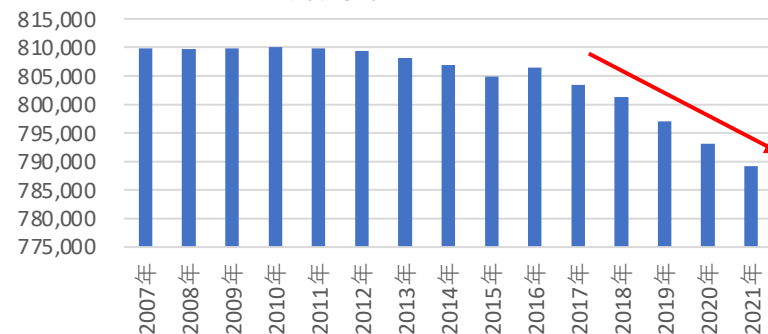


にいがた県統計ボックス (統計課) より

新潟市人口

79万人割れ

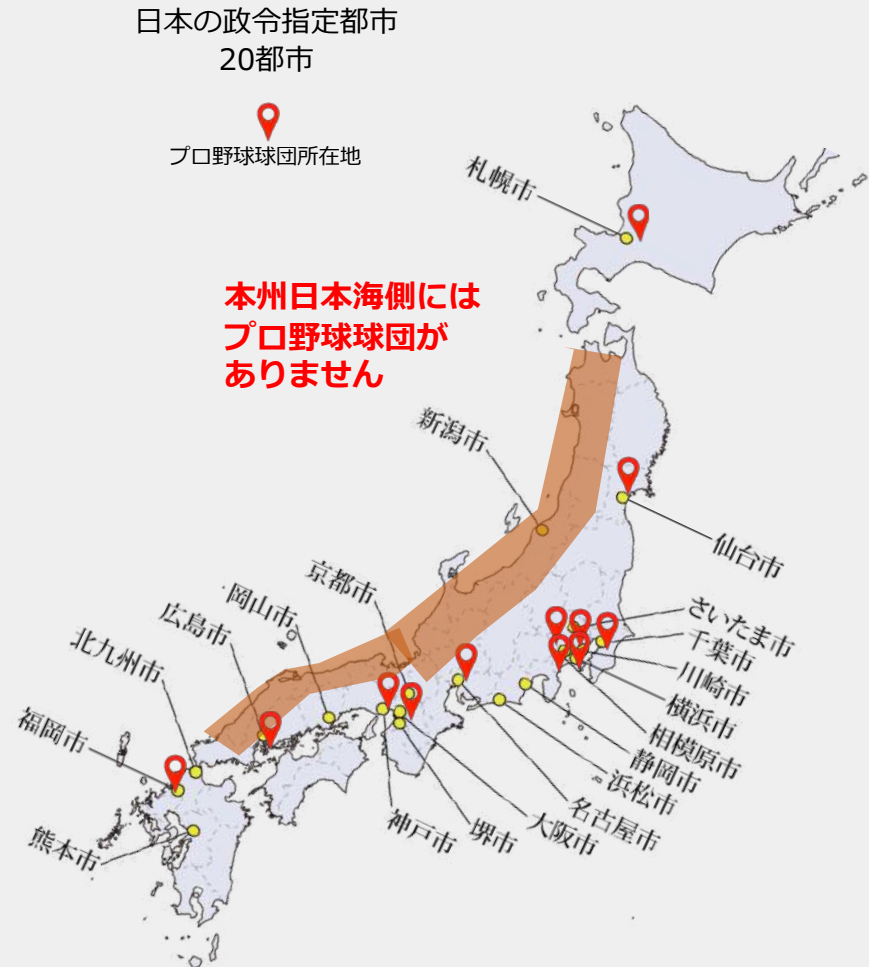
新潟市の人口



にいがた県統計ボックス (統計課) より

なぜ新潟にはプロ野球がないのか？

日本のプロ野球は、札幌、仙台、東京、千葉、横浜、名古屋、大阪、兵庫西宮、広島、福岡。太平洋側にずらりと並び、まるで太平洋ベルト地帯のようです。本州日本海側には1つもなく、唯一の政令指定都市である新潟にプロ野球球団がないのは、むしろ不自然です。



プロ野球がある都市は元気だ！

全国の政令指定都市の人口動向を見ると、
横浜・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台の地方都市
にはそれぞれプロ野球球団があり、
人口も増加しています。

全国住みたい街ランキングでも、横浜・札幌・
福岡・大阪・名古屋が上位に顔を出しています。

**プロ野球がある都市には、人が多く集まり、
街に活気が宿る傾向は否めません。**

市	人口	前年比	
横浜	374万8781	8,609	横浜DeNAベイスターズ
大阪	274万0202	1万5196	オリックス・バファローズ
名古屋	232万7557	7,196	中日ドラゴンズ
札幌	197万0052	4,112	北海道日本ハムファイターズ
福岡	159万2657	1万3207	福岡ソフトバンクホークス
川崎	153万0457	1万3974	
神戸	153万2944	-4,463	(阪神タイガース)
京都	146万6264	-2,716	
さいたま	130万7931	1万2324	
広島	119万9365	123	広島東洋カープ
仙台	109万0263	1,594	東北楽天ゴールデンイーグルス
千葉	98万0203	2,956	千葉ロッテマリーンズ
北九州	94万0141	-5,454	
堺	82万7971	-3,046	
新潟	79万6500	-4,082	
浜松	79万1770	-2,255	
熊本	73万9393	-163	
相模原	72万2828	-184	
岡山	72万0865	-464	
静岡	69万1185	-4,231	

大都市統計協議会まとめ

順位	住みたい街	前回順位	
1位	神奈川県横浜市	1位	横浜DeNAベイスターズ
2位	北海道札幌市	2位	北海道日本ハムファイターズ
3位	東京都港区	3位	
4位	東京都世田谷区	4位	
5位	福岡県福岡市	5位	福岡ソフトバンクホークス
6位	大阪府大阪市	6位	オリックス・バファローズ
7位	愛知県名古屋市	8位	中日ドラゴンズ
8位	京都府京都市	9位	
9位	兵庫県神戸市	7位	(阪神タイガース)
10位	沖縄県那覇市	12位	

「生活ガイド.com」 (<https://www.seikatsu-guide.com/>)
全国住みたい街ランキング2021

新潟には地元チームを愛する大きな力がある

もし、新潟にプロ野球球団が誕生し、地元でゲームが開催されるとしたら、市民の盛り上がりは容易に推測できます。

それは、新潟に拠点を置くサッカーアルビレックス新潟の実績が物語っています。

現在、J2では、リーグ戦観客動員数、ダントツの1位。

1 試合平均 1 万人以上！

新潟には地元プロスポーツを愛し、応援する土壤がすでにあるので、プロ野球でも盛り上がること間違いなしです。

2021年Jリーグ観客動員数

J 2	試合	合計	
		入場者数	平均
秋田	8	16,351	2,044
山形	8	35,130	4,391
水戸	8	19,121	2,390
栃木	8	34,009	4,251
群馬	9	17,233	1,915
大宮	8	30,582	3,823
千葉	8	30,865	3,858
東京V	11	22,240	2,022
町田	8	16,061	2,008
相模原	9	18,453	2,050
甲府	8	35,811	4,476
松本	9	53,386	5,932
新潟	8	92,953	11,619
金沢	9	18,692	2,077
磐田	8	41,031	5,129
京都	8	30,708	3,839
岡山	8	29,263	3,658
山口	9	26,971	2,997
愛媛	9	12,754	1,417
北九州	9	25,924	2,880
長崎	8	36,241	4,530
琉球	9	20,516	2,280
合計	187	664,295	3,552

新潟にプロ野球を。そのためには2つの方法が現在考えられています。

①

既存のセ・パ両リーグ12球団の
いずれかを新潟へ
移転誘致するパターン

②

NPB16球団構想（2014年）の
動きに乗って、新潟に
新球団を設立するパターン

**新潟にプロ野球球団を誕生させる！
このプロジェクトのファーストテーマです。**

NPBプロ野球16球団化の動きを 県民市民の力で本格化

自民党の日本経済再生本部

「日本再生ビジョン」中「NPB16球団構想」
(2014年)が発表。

「NPB球団の空白地域」の新潟市、静岡市、松山市、
沖縄県が賛同。沖縄県では琉球ブルーオーシャンズ
が設立。(2019.7.18)

さらに本格化させていくためには、県民市民の方々が
動き出すべきです。

王貞治氏もNPB16球団化への賛成を表明。
古田敦也氏もその可能性を訴えています。



ドーム球場の建設

現在、新潟にはハードオフエコスタジアムがありますが、NPB球団誕生となると、天候に左右されず日程を実施できる全天候型のドーム球場が必要です。

【ドーム球場設備例】

収容客数 未定

360°の超大型スクリーンの設置

最新音響システムの常時設置

インタラクティブ照明システムの設置

可変式観客席の導入



新潟のドーム球場で日本6大ドームに！



福岡ペイペイドーム



札幌ドーム



東京ドーム



名古屋ドーム



京セラドーム

新潟に「世界一のワクワク」を！



野球だけでなく、多様なイベントに展開できる「多彩な場」になるドーム球場

他とのつながりが生まれ「共有の場」になるドーム球場

仮想空間との融合や視覚効果が生まれる「驚きの場」があるドーム球場

ゲームやイベントと連動する「感動の場」となるドーム球場

NPB球団が誕生し、公式戦が行われるドーム球場が完成する。
しかしそれらは、新潟の人々にとってワクワクするものでなければなりません。

【ドームシティ構想】

- **スポーツ+エンターテインメントのハイブリッド型の商業エリアを構築**
- **物販・飲食・宿泊を取り入れたゾーン開発**
- **県外・国外からの来訪者と県民・市民が楽しめるエンターテインメントシティ**



スポーツ&エンタメのメッカに！



◎国際見本市など各種展示会・ビジネスイベントの開催

◎多様なアーティストによるライブ・イベント開催

◎日本6大ドームツアーなど芸能イベント開催

◎e-Sportsなどの国際イベント開催

●NPB公式戦の開催 野球・環日本海リーグ開催

●WBCワールドベースボールクラシック開催

●ソフトボール公式戦の開催

●サッカーアジア大会・W杯・国際大会開催

●日本プロバスケットBリーグの公式戦開催

●バスケットボールNBAの試合開催

●卓球・体操・柔道・剣道などの公式戦及び国際大会戦開催

●スノーボードX-TRAIL JAMの開催

●ジャパンラグビートップリーグの公式戦開催

●アメリカンフットボールリーグ「Xリーグ」の公式戦開催

●自転車競技国内・国際大会開催 他

NPB球団誕生で、多くの人が新潟に集まる！

J1リーグ入場者
1試合平均

19,064人

2018年実績

NPBパリーグ入場者
1試合平均

26,376人

2018年実績

NPBセリーグ入場者
1試合平均

33,183人

2018年実績

日本のスポーツの中でも、安定的に圧倒的な人気を保ち続けているのが「NPB」です。

観客動員数も高く安定しています。

セ・パ両リーグとも **1試合約2.6～3万人以上**もの入場者を集めています。

シーズンを通して、新潟のNPB公式戦に県内外から多くの人が集まり、新潟に活気が戻ります。

大きな経済効果に期待！

2016年シーズン北海道日本ハムファイターズ優勝による経済波及効果

試合観戦客
244億6,800万円

優勝記念セール
売上
5億2,400万円

優勝パレード実施
に伴う消費
6億2,200万円

北海道銀行グループ 道銀地域総合研究所調べ

北海道日本ハムファイターズによる経済波及効果は
約260億円

新潟の場合ならさらに大きな経済効果が！

街のにぎわい&再活性化

<例えば 新潟市の場合>

- 古町エリア

飲食、エンターテインメントの再興

- 万代エリア

ショッピングによる大きな経済効果の発生

- 新潟駅周辺エリア

交流人口が増大にぎわいづくりが躍進

- 新潟空港エリア

利用者増により、空港シティ開発へ



世界から多くの人々が駆けつける！

世界一ワクワクするドームシティを目指して、

新潟を訪れるが多くなり、

大きな経済効果が生まれます。

韓国・台湾・中国・香港から

新潟空港の利用者が多くなります。

環日本海経済圏における経済効果が期待できます。



日・韓・露・中の国際市民交流！



新潟市内には、

駐新潟大韓民国総領事館

在新潟ロシア連邦総領事館

中華人民共和国新潟総領事館

3国の領事館があります。

ドーム球場を使えば

スポーツ、各種文化事業、

経済イベントを通じて、

市民レベルでの国際交流が生まれます。



多くの県民が結束・団結！

このビッグプロジェクトからによって、
新潟が大きく生まれ変わる瞬間に
期待が高まります。

プロジェクトに参加したい人、
ボランティア活動をしたい人、

一緒に新潟の未来を考えたい人、

様々な人々が集い、機運が醸成され、

結束と団結力が生まれることで、

プロジェクトの実現が近づきます。



都市整備も前進！

新型コロナウイルス感染拡大収束後、インバウンドが回復。ドーム球場へ国内外の旅行者たちが新潟空港を利用します。

新潟空港と市街地を結ぶ交通インフラの整備が進みます。

<例えば>

- 人気の豪華船クルーズの寄港地
 - 新潟空港空路の拡大
 - 新交通インフラモノレールの整備
- などの都市整備も期待できます。



危機管理に大きく貢献！

日本は自然災害が多く、
地震や津波、台風や大雨、洪水などへの
備えが都市基盤づくりの中では欠かせません。

ドーム球場は、
被災者を受け入れる巨大避難所になります。

新潟の危機管理機能を高める上でも
大きな役割を果たすと考えられます。



ハリケーン「カトリーナ」の被害により避難所となった
アストロドーム（2005年・アメリカ）

新潟にNPB 球団&ドームシティができるとどうなるか？

NPB球団&世界一ワクワクするドームシティ

『来訪者の増加』

『大きな経済効果』

『新潟プライドの形成』

『国際交流の活性化』

『都市デザインの加速』



ずっと
住み続けたい

また
訪ねてみたい

“ ワクワクに満ちた自然都市 新潟 ”

